

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 児童生徒の発達段階を的確に把握し、自立に向けて可能性を伸ばすことができるよう、合理的配慮を取り入れながら個に応じた教育活動を行う。
- 2 児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育及び道徳心・社会性の育成を図る。
- 3 健康で安全な生活習慣の向上を図り、安全安心できれいな学校づくりを進める。

2 中期的目標

- 1 地域・保護者の信頼に応えた「安全で安心な学校」の創造
 1. 安全で安心な学校となるよう防災、防犯の取組みを推進する。
 2. 互いの人権が尊重され、だれもが過ごしやすい教育環境を充実する。
 3. 地域との連携と支援を充実する。地域高齢者施設と連携した校外活動（清掃）の内容を拡充する。[R3 : 車いす清掃、R4 : 周辺地域清掃、R5 : 居室を含めた施設内清掃]
- 2 どの子もわかる楽しい授業の創造
 1. 学びの楽しさを感じ、主体的、積極的に学習活動に参加できる環境の充実に努める。研究テーマに基づき各学部で研究授業を実施し3事例ずつ実践をまとめて冊子に掲載し、3年間で27事例を集約して実践報告集を作成する。[R3 : 9事例、R4 : 18事例、R5 : 27事例]
 2. ICTを活用した授業の進め方を研究し授業を活性化し、保護者によるアンケートの満足度を向上する。[R3 : 70%、R4 : 75%、R5 : 80%]
 3. キャリア教育を充実し、高等部卒業後の職業的・社会的自立に向けた支援体制を進める。
- 3 健康でたくましい心と体を育てる取組の創造
 1. 食の安全を守り、アレルギー対策や医療的ケア体制の充実を図り、保護者によるアンケートの満足度を向上する。[R3 : 70%、R4 : 75%、R5 : 80%]
 2. 心身ともに健康を維持し学校生活を送るための保健医療の取組みを進める。
- 4 働き方改革の観点から教職員の健康管理に取り組む
 1. 健康を維持し、働くことの楽しさや充実感を感じられる職場環境を構築する。腰痛予防とメンタルヘルスに関する研修を開催し、教員アンケートの満足度を向上する。[R3 : 70%、R4 : 75%、R5 : 80%]
 2. 新型コロナウイルス感染症予防の対策に積極的に取り組み感染防止に努める。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1、地域・保護者の信頼に応えた「安全で安心な学校」の創造	1.安全で安心な学校となるように防災、防犯の取組みを推進する。	<p>(1)様々な自然災害に備えるための学校体制を充実するとともに、各種マニュアルを整備し実効性のある緊急時シミュレーションを実施する。PTA、地域とも連携し、校内の危険を防止するための対策を進める。 BCPに基づいて、各教職員の任務分担を点検する。 実際の災害時を想定して教職員による実践的な避難訓練を実施する。 PTAと連携し、防災の意識を高めるための校内研修を実施する。 PTAも参加する避難訓練を実施する。(1回)</p> <p>児童生徒対象に、地震、台風、洪水等を想定した避難訓練を実施する。 バス乗車時の避難方法について検討し、通学バス乗車時の災害マニュアルを作成する。 校内の備蓄品を点検し、PTAと連携して新たに個人備蓄品の整備について検討する。</p> <p>すぐメールの加入率を向上する。</p> <p>防犯研修を実施するとともに、カメラを複数台設置し、教職員の防犯意識を向上する。</p>	<p>BCPを再点検し8月頃までに完成する 緊急時の引き渡し訓練実施(1回) 研修実施回数(1回)</p> <p>合同避難訓練実施(1回) テーマごとの避難訓練実施回数(4回) 8月頃までにマニュアル作成</p> <p>8月頃までに個人備蓄について校内での保管場所と方法等についての検討を進める 教職員99%、保護者95%を維持する[99%、95%] 生野警察と連携した防犯研修実施(1回)</p>	
	2.互いの人権が尊重され、だれもが過ごしやすい教育環境の充実	<p>(2)人権が守られ過ごしやすい学校生活を送るための環境を整備し、学校の情報を積極的に発信し開かれた学校となるように進める。 人権尊重の教職員研修を実施する(年2回)</p> <p>各種ハラスメントの相談体制を充実する。</p> <p>人権に関する研修に教員を派遣する。</p>	<p>LGBT、障がい理解に関する人権研修を実施(2回) ハラスメントをテーマにした研修を開催し、教職員の理解を深める(1回) 教育センターでの研修に各学部から1名を参加させる。(3名)</p>	
	3.地域との連携と支援の充実	<p>(3)地域支援体制の充実 支援相談部を中心に域内の幼保小中高等学校への支援相談の内容を充実し地域の支援教育力の向上に資する。 支援教育講座を開催し地域への情報提供を行う。 臨時休業時にも活用できる映像教材等を作成する。 小中学校等のコーディネーターとの交流会を開催する。 交流および共同学習の機会を復活する。</p>	<p>(3)</p> <p>支援教育講座開催(オンライン含む)(3回) 映像教材を制作(3本)する。 交流会開催(オンラインを含む)(1回) 居住地校交流を再開する[0件]</p>	

<p>2. 子どものよくなる楽しい授業の創造</p>	<p>1. 学びの楽しさを感じ、主体的、積極的に学習活動に参加できる環境の充実</p> <p>2. ICT を活用した授業の進め方を研究し授業を活性化する。</p> <p>3. キャリア教育を充実し、高等部卒業後の就労に向けた支援を進める。</p>	<p>(1) 主体的で深い学びをめざした、児童生徒が考えて動ける楽しい授業をつくる 校内研修体制を見直し学習指導法や児童生徒理解を深める。 他学部や他学年の授業見学をする。</p> <p>(2) ICT 環境を充実するとともに、個のニーズに合わせて合理的配慮のある授業を構築する 大型モニターの設置台数を増やす。 ICT の活用率を向上する。 WEB 会議システムを用いて長期欠席者との交流を実施する。 ICT の活用をテーマに外部講師を招き研修を実施する。</p> <p>(3) 社会に開かれた教育課程をつくり、より実践的なキャリア教育推進をめざす 高等部の各コースの活動内容を精選充実し、学習に必要な物品を購入する。 校外販売学習と清掃学習に取り組む。 校内販売学習の実施を継続する。 校内印刷学習を継続する。 高等部卒業後の就労率を向上する。</p>	<p>(1) 学習指導法、児童生徒理解に係る研修実施(3回) 他学部等見学者数 20 人 [10人]</p> <p>(2) モニター購入 5 台 保護者アンケートの満足度を 80%にする[R 1 =64, R 2 =65] 長期欠席者との交流実施(3回) 研修実施(2回)</p> <p>(3) キャリアアップ、ワーキング、トライの各コースの学習内容を見直し、印刷機、掃除機、耕運機等必要な物品を購入する。 地域行事での販売学習への参加を試みる(1回) 校外での清掃学習実施(3回) [2回] 校内販売学習の実施を継続する[1回] 校内での印刷物依頼件数を維持する。[5件] 就労率を 20%とする。[R 1 : 14%、R 2 : 7%]</p>	
----------------------------	--	--	---	--

<p>3、健康でたくましい心と体を育てる取組の創造</p>	<p>1 .食の安全を守り、アレルギー対策や医療的ケア体制の充実を図る</p> <p>2 .心身ともに健康を維持し学校生活を送るための保健医療の取組みを進める。</p>	<p>(1) 食育の推進 学校全体で食育を推進する体制を整備する。保護者へは給食だより等で情報を発信し、学校給食への理解を深めていく。 給食試食会を設けて学校給食への理解を深めていく。</p> <p>児童生徒へは食育の授業を進めて食への関心を高める。食育として児童生徒が野菜の下処理等に参加する。</p> <p>校内農園で野菜を栽培し給食食材の一部にする。</p> <p>(2) 健康相談体制の充実と拡充 健康相談(歯科、内科、精神科、眼科、耳鼻科)の充実 PT、OT、ST、臨床心理士等福祉医療人材活用を進め、助言を個別の指導計画に生かす工夫をする。 学校保健委員会を開催し、保護者とともに心身の健康について意識を高める。</p> <p>(3) 医療的ケア安全委員会から、研修と緊急時シミュレーションを実施する</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの対策に取り組む</p>	<p>(1) 食育委員会開催(3 回) 給食だより発行(10 回) [10 回] 試食会実施(1 回) 参加者数 30 名をめざす [R 1 : 20 名、R 2 : -] 野菜の下処理等への参加グループ(10 件) [R 1 : 3 グループ、R 2 : -]</p> <p>野菜栽培の参加グループ(10 件) [7 グループ]</p> <p>(2) 相談希望者数を増加する[20 件] PT、OT、ST、臨床心理士の要請回数を増加する [PT、OT、ST 各 3 回、臨 7 回] 学校保健委員会開催(1 回) 保護者の参加者数を増やす(20% 増加) [3 名]</p> <p>(3) 研修実施 2 回 実際場面を想定したシミュレーションを実施(3 回)</p> <p>(4) 修学旅行・宿泊行事等が安全に実施できるように校内マニュアル(行事用)を整備する。 新型コロナ対策委員会の情報をメールで送信し早期の共有化を図る。</p>
-------------------------------	--	---	--

<p>4、働き方改革の観点から教職員の健康管理に取り組む</p>	<p>1. 健康を維持し、働くことの楽しさや充実感を感じられる職場環境を構築する</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症予防の対策に積極的に取り組み感染防止に努める。</p>	<p>(1) 分掌業務内容の見直しと業務分担を平準化し、校務分掌検討を進める。 新しく開設した総務部の業務内容を見直し校務遂行状況を検証する。 新しい会議ルールの定着を進め、会議時間の短縮を図る。 コロナウイルス感染防止のため WEB 会議システムの活用を進める</p> <p>(2) 安全衛生委員会による教職員の健康で安全な労働環境の保全を進める。 安全衛生委員会による校内巡視や危険個所の点検を進め、早急な補修や取り換えを進める。 腰痛予防講座を実施し、健康の保持に努める。 メンタルヘルスに関する研修を開催する</p> <p>(3) 時間外勤務の縮減 月に1回「ゆとりの日」を設けて定時に退勤できるようにする。 週に1回「定時退勤日」を設けて19時には全員が退勤できるように、安全衛生委員会から定時退庁を呼びかける。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対策委員会を組織し、マニュアルの整備を進め、消毒等の対策を図る。</p>	<p>(1) デイサービス担当分掌を総務部に委嘱し円滑な引継ぎを進める。 企画運営委員会での会議資料の事前配布ルールを定着し、課業内での開催を進める(11回) 職員会議と各部会の7割をWEB会議とし安全に実施できるようにする。</p> <p>(2) 安全衛生委員による定期的な校内巡視と点検を進める。(6回)[5回] 腰痛予防講座参加者数を20%増加する。 [R1:15名、R2:-] メンタルヘルス研修実施(1回)</p> <p>(3) 時間外勤務80時間越えの者0%を維持する [0名] 「定時退勤日」の朝の連絡での呼びかけを毎週行う。</p> <p>(1) 対策委員会の情報共有を積極的に進め、メールでの連絡体制を整備する。 SSS(2名)及び学習支援員(3名)を活用して校内の消毒体制等を充実する。</p>
----------------------------------	--	--	---